

論理ソリューションレイヤーの役割について

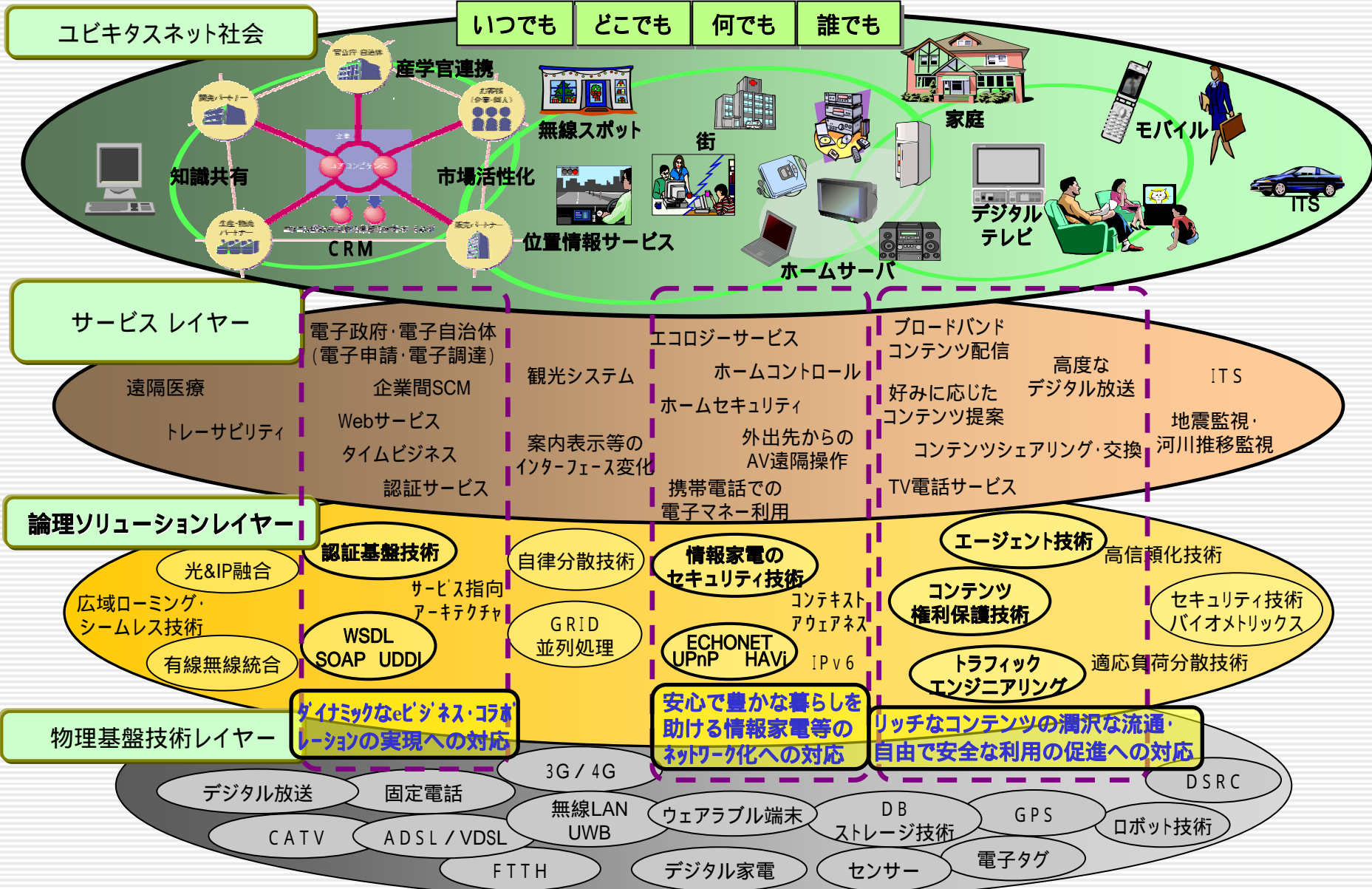
2004年10月14日

松下電器産業株式会社
パナソニックシステムソリューションズ社

社長 秋山 正樹

ユビキタスネット社会とそれを支えるICT産業の構造

- ユビキタスネットを支える技術 -



e-Japanからu-Japanへ

IT社会のシステム

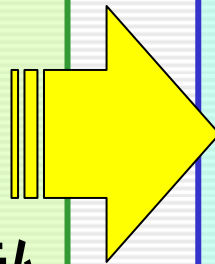
e-Japan

電子商取引などBtoBシステム
電子政府などGtoBシステム
を中心とした施策

e-Japan

トレーサビリティなどBtoBtoCシステム
行政手続きワンストップ など
GtoBtoCシステム

End to Endシステムの必要性



ICT社会のシステム

Peer to Peerシステム
までを含むトータルシステム

ユビキタスシステム

性能仕様の策定

《論理ソリューションレイヤー》

機能仕様の策定

《アプリケーションレイヤー》

論理ソリューションレイヤーの性能仕様

性能仕様 1 : ライフラインとしての活用

- ▶ ネットワークの信頼性・品質
- ▶ システムダウンしない構造・方式
- ▶ 危険防止のフェイルセーフ設計手法
- ▶ 誰でも使えるユニバーサルデザイン

性能仕様 2 : プライバシー保護

- ▶ システムとして持つべきプライバシー基準
(個人の購買履歴、クレジットカード番号など)
- ▶ PtoPにおける機器として持つべきプライバシー基準
(R/W機器の読み取り可能な情報など)

官民の役割分担について

官の役割

論理ソリューションヤー
の性能仕様の策定

* 品質基準、設計手法、システム構造

サービスレイヤー
の機能仕様の策定

* モジュール化、共通化

民の役割

性能仕様に基づく
システム・機器開発

機能仕様に基づく
業務モジュールを
実装